６）ロータリー財団学友会

**１）学友会の概要**

　1947年以来、世界で110,000人以上がロータリー財団(TRF)の奨学金や補助金を受領しています。

元財団奨学生たちはロータリー財団(TRF)の力強い賛同者であり、新会員や財団の寄付者となる可能性が高く、末永い関係を維持することが大切です。

**２）学友会の活動と現況**

　第2790地区財団学友会（通称）は、過去に第2790地区ロータリー財団国際親善奨学金を授与された者、同地区が派遣した研究グループ交換に参加した者、グローバル補助金及び地区補助金奨学金を授与された者を正会員として、会員相互の親睦と関係団体との協力、連携のもとロータリーファミリーとしての使命を自覚し、世界平和と友好に寄与することを目的とする組織です。名簿上では、1969年の研究グループ交換（GSE）から2019年のグローバル補助金奨学生まで、国際親善奨学生や地区補助金奨学生を含む331名が登録されています。

　以前のR財団国際親善奨学金プログラムから、今日グローバル補助金奨学生や地区補助金奨学生プログラムに変わり、学友資格を有する人数が数名（年間）に減ったことから学友会としての活動も徐々に変化しています。

　その1つが、日本ロータリー学友会への参加です。2011年に日本全国の各地区学友会による横断的な組織である日本ロータリー学友会が発足し、私ども第2790地区財団学友会も2012年より参加をしています。毎年1回の総会では、当時は大きな話題であった国際親善奨学金プログラムから今日の地区補助金奨学生やグローバル補助金奨学生プログラムへの移行に関しての意見交換や活動報告の他、学友間の連絡が難しくなってゆく状況などを打開すべく横の連携を深め、他地区学友会との交流にも力を注いでいます。また 2012年のバンコク大会からほぼ毎年（ブラジル国際大会を除き）、国際大会での学友会イベントへの役員の派遣を行っています。

　他方、IT技術を活用し、学友同士の結びつきを深めていくことも実施しています。SNSでFacebookの公開ページ「ロータリー2790地区財団学友会」を作成し、学友会の活動報告から、学友個人の情報告知（例えば、芸術関係の学友がコンサートを開催する際の告知など）ができるよう運営されています。これらの活動が実を結び、海外で活動している学友も、学友会をより身近に感じることが出来る様になればと期待しています。

　地区内では、財団学友会は米山学友会と共催し、毎年バーベキュー大会や忘年会などを開催しておりましたが、他のロータリーファミリーとの横の連携を深めようと「ロータリー学友連絡協議会」が2019年6月に発足。財団学友会、米山学友会、ローターアクト、インターアクト、ROTEX、RYLAなどが一同に集まり今後どのように活動していくのか、注目が集まっております。

地区財団委員会では、地区補助金奨学生やグローバル補助金奨学生の選抜選考会での語学選考スタッフとしての手伝い、派遣に関する事前のオリエンテーションでの学友助言、例会での卓話、学友会総会および懇親会の実施といった活動を中心に毎年1回、夏の総会に際して、ニューズレターを発行し、学友会のメーリングリストで共有しています。

　ロータリアンの皆様で是非読みたいという方がいらっしゃいましたら、お声掛けいただけましたら幸いです。